

めぐみ

令和7年
秋号

発行元 社会福祉法人 清光会 障がい福祉サービス事業 恵誠の里
〒598-0024 大阪府泉佐野市上之郷2007番地の1

発行者 施設長 樋口力

TEL 072(467)1181

FAX 072(467)2281

HP <http://s-seikoukai.or.jp/keiseinosato>

E-mail keiseinosato@nifty.com



強度行動障害支援者養成研修を受講して

私は今までに色々な支援を見たり、実践したりとたくさんの経験をさせていただいていますが、今回の研修を受けて、改めて自分の中での気づきや学びになりました。

講義については実際の強度行動障害を持つ方の事例が動画で出題されていました。事例の動画を見て、真っ先に私は「この場合はこうしてみたらどうだろうか、これはどうだろうか」と支援策ばかりが頭に浮かんでしまったのです。当たり前の事ですが、同じ障がいであっても、それぞれの個性や特性、生活環境の違いがあります。最重要なのは、まずアセスメント（ご利用者の情報や環境などの状況を把握し、日常生活の評価から希望する生活や課題等を把握すること）です。「何故、そんな当たり前の事を？」と思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、いつの間にか私の中で、経験則に基づいた判断をしていたことに気が付くことが出来ました。「仮説」はとても大切ですが、頭のどこかに「結論」を端的に導き出そうとしてしまう考えを認識できたことは、とても良かったと感じています。

支援計画は、ご本人の困りごと（周囲の人の困りごとではない）に対しての特性を踏まえ、どのような環境や状況があるのか、詳細にアセスメントを行い、冰山モデル（全体像を氷山にたとえて、私たちが直ぐに判断できる困った出来事や行動は、海面上につきだしている氷山の一角に過ぎず、海面下の目に見えにくいところに様々な要因がある事を導き出す絵図）を使って支援手順を導きます。ストレングス（ご本人の強みの特性）を活かしているのが重要です。

何よりも大切な考え方として、どんなに立派な計画を立てても、支援者がチームとなり同じ目的で理解ができている、且つ統一した支援を実践しなければ、全く意味を成さなくなります。その為、誰が見ても分かりやすい表現を使って支援手順を作成することが重要です。

支援チーム全員が同じ方向に向かって取り組みたいと思ってもらうためには、なぜこの支援を行うのか、どのような望ましい行動を目指すのか？特性に基づいた根拠をチームにわかりやすく説明しておくことで、統一された良い支援に繋げていくことができます。

ご利用者には必ず達成できるゴールがあって、その為に我々支援者が存在しています。恵誠の里では、ご利用者を中心に担当支援員やサービス管理責任者、すべての職員が何らかの形で関わっています。各種の社会資源は、ニーズ達成の為、ご家族やグループホームとの連携が必須です。

尚、担当を持たせていただいている支援員は、強度行動障害支援者養成研修（実践研修）を終了しています。今後も ONE TEAM・ONE HEART の心構えで、支援に活かしていきたいと気持ちを改めることができました。



恵誠の里 サービス管理責任者 柳橋賢治

恵誠の里まつり



9月20日（土）恵誠の里まつりを開催しました。今回の目玉は貝塚市吹奏楽団による演奏会で、迫力のある生演奏を皆様楽しんでいました。その他に、藤原支援員による合気道や、年間を通してイベントで撮影した写真のスライドショー、創作活動で制作した作品の展示があり、1日を通して恵誠の里まつりを楽しんでいました。

支援員 宇室克哉



家族会より



50 インチ 4K 液晶テレビを寄贈して頂きました。
有難うございます。

令和7年8月 家族会寄贈

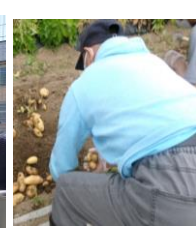
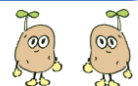
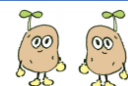
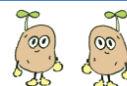
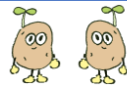
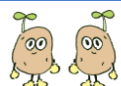
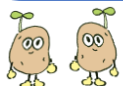


第3回人権研修

9月2日～3日にかけて、講師 大阪公立大学大学院准教授 三田優子 先生をお招きして、障がい者虐待“きほんのき”～気づきを学ぶ～を受講しました。

講義では、事例を通じてご利用者一人ひとりの生活が尊重され、個々の望む暮らしの実現にむけた支援のあり方について、熱く語っていただきました。

これからも清光会職員として、ご利用者の安心安全な支援体制をしっかりと構築していきます。



今期はジャガイモ、キュウリ、トマトを中心に栽培しました。皆さんで耕し、マルチシートを敷き、日々雑草抜き等の手入れを協力して行い、ちょうど暑くなる時期と重なったことから、熱中症対策で屋外での活動に制限がある中でしたが、どの野菜も順調に育ち、大収穫に繋げることが出来ました。特にジャガイモは豊作で、写真のコンテナに山盛り4杯分となりました。すごい！

支援員 山野剛史



辞令交付式が行われました

令和7年10月1日に、後期の辞令交付式が執り行われ、田端理事長から一人ずつ辞令が交付されました。

和泉の里には、支援員2名、事務員1名、調理員1名

ささゆり作業所には、支援員1名、計5名の方が、清光会職員としての第一歩を踏み出されました。皆さまよろしくお願ひします。

恵誠の里家族会茶話会♪



7月12日（土）恵誠の里で、家族会主催の茶話会が開催されました。この茶話会を通して「話せる場」の大切さに気づきました。今後も定期的開催されますので、その際にはご多数のご参加をお待ちしております。

サービス管理責任者 柳橋賢治

欠勤職員 ささゆり作業所→恵誠の里

ささゆり作業所から異動になりました山口と申します。至らない点もあるかと存じますが、誠心誠意努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

支援員 山口麻衣

欠勤職員 恵誠の里→和泉の里

7月1日付けで和泉の里へ異動となりました。恵誠の里での2年4ヶ月は、私なりにご利用者と様々な視点から向き合う事ができ、充実した日々でした。和泉の里は、入所施設で通所施設しか経験のない私にとって、全てが初めての事ばかりで戸惑いも多いと思います。けれども、既成概念に囚われる事無く、先輩の方々から助言をもらいながら成長していきたいと思います。ありがとうございました。

支援員 辻麻由美

皆さまには大変お世話になりました。ご迷惑をおかけしたこともあったと思いますが、皆様と一緒に働けたのは、とても楽しかったです。今までありがとうございました。

栄養士 奥野真弓

この度、一身上の都合で退職することになりました。在籍中は、至らぬ点もあったかと思いますが、お世話になりました。昼食を通じて皆様に美味しく食べてもらえて嬉しかったです。今まで本当にありがとうございました。

調理員 原口明華

2年間、皆様には沢山助けていただきありがとうございました。今後の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

調理員 清水久美子

利用相談・見学・体験利用について随時受け付けております。サービス内容は事業所ホームページに記載しておりますので、どうぞご覧下さい。（電話での相談もお受けします。TEL072-467-1181）

ご連絡お待ちしております。受付：谷口勉

ご協力ありがとうございました。

蒔田邦子、岡村恵美子、米澤保代、今若圭子、
檜作信雄、山内洋、岩下有美子、株式会社興和、
エス・ティ・サービス （順不同、敬称略）

作業提供ありがとうございました。

松井縫製加工所、有限会社丸甚製作所、
有限会社ハナトミ
（順不同、敬称略）